

経済学研究科 受賞

経済学研究科・松田安昌教授が「第13回日本統計学会
研究業績賞」を受賞しました

2019年6月9日、松田安昌教授が「第13回日本統計学会研究業績賞」を受賞しました。これは、統計学及び関連分野における優れた研究業績を顕彰するため、日本統計学会から授与されるものであります。

○受賞者

松田 安昌 氏 P. J. Brockwell 氏（共同受賞）

○授賞理由

氏は、P. J. Brockwell 氏（コロラド州立大学名誉教授）とともに、連続時間自己回帰移動平均モデルを時系列から空間データに拡張し、またベイズモデルによる新しい推定アルゴリズムを提案するとともに、それを地価データ空間構造の分析に適用してきました。これら業績は高く評価されており、とくに、連続と離散にあるギャップをベイズ法によって解釈し、推定をさらにスムージングに応用している点は、応用データ解析に対して多大な貢献をしたと評価されています。

○リンク先：

協会HP：[一般社団法人日本統計学会 2019年度学会賞受賞者の紹介](#)